

北海之光

6月号 北海道教区報

主はわたしたちに道を示される
わたしたちはその道を歩もう

イザヤ書2章3節

発行所 北海の光社
001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12

日本聖公会北海道教区事務所

電話 011-717-8181

FAX 011-736-8377

E-mail:hikari@nshk-hokkaido.jp

http://www.nshk-hokkaido.jp

発行人 笹森田鶴

「風の器」

札幌聖ミカエル教会牧師

函館聖ヨハネ教会・今金インマヌエル教会管理牧師

司祭 ノア 上平 更

聖霊降臨の日、「激しい風

が吹いて来るような音が天か

ら聞こえ、彼らが座っていた

家中に響いた」と、使徒言行

録に記されています。キリス

トの道を歩む教会の福音伝道

は、この日から始まったと言

われています。神さまは旧約

の時代から「風(あるいは霊)」

によって世界に希望をもたら

してきました。天地創造の初

め、葦の海を分けた出エジプ

ト譚、王ダビデの祝福、枯れ

た骨のよみがえり…すべては

神の霊(風)によって始まっ

たと聖書は語ります。

一方この霊は、思いのまま

に吹き、どこから来て、どこ

へ行くのか私たちには知る由

もない、自由に吹く風です。

そしてこの風は、時に私たち

を、苦難への道へ押し出す大

風となり、人生の向かい風と

もなります。主の荒れ狂う風

は大地から潤いを奪い去り、

荒野を生み出し、生きる糧を

失った私たちをそこに立たせ

て問います。「あなたがたは

何によって生かされているの

か」と。

主イエスは、サタンの誘惑

に対して、「人はパンだけで

生きるのではなく、主の口か

ら出るすべての言葉によって

生きる」と答えられました。

申命記によればこの言葉には

続きがあります。

「この四十年の間、あなた

のまとう着物は古びず、足が

はれることもなかった。あな

たは、人が自分の子を訓練す

るように、あなたの子、主が

あなたを訓練されることを心

に留めなさい。」

(申命記八：四)

私たちの心は、喜びの時ば

かりを神の祝福と考え、待ち

望む時、耐える時もまた神の

計らいの内にあることから目

を背けてしまいがちです。パ

ンを得るためには、畑を耕し、

種を植え、風雨から苗を守り、

収穫から製粉、薪を集めてか

まどで焼き上がるまでの道の

りを歩まなくてはなりません。

パンを口にするまでの苦

労の日々を支えるのは、神さ

まが世界を創造された時、そ

の言葉によって造られた「よ

し」とされたものたちです。

何も与えられないと思える

時、両手に何も持たない裸の

時に、私たちは、身の回りに

あるそれらの存在を思い起こ

し、神さまに信頼する希望を

取り戻すことができます。神

さまは、私たちの弱さに失望

することなく、絶えず吹き続

ける風のように、何度でも、

何度でも繰り返し恵みを注が

れます。そして枯れた花や草

に、恵みの雨を呼ばれ、倒れ

たものを起こしてくださいま

す。花咲く時期、実りの時期、

雪深い眠りの時を繰り返し、

この世界は神の創造の日々が
今も続いていることを私たち
に示してくれています。だか
ら私たちは苦しくとも、共に
担う仲間たちと生き続ける勇
気がこの体の内に宿っている
ことを知ること、信頼するこ
とができるのです。

私たちの身体にも神がその
息を吹き入れ、命が与えられ
ています。そして、自分の体
から息を吐き出し、そこに声
を乗せ、言葉を紡ぎ出して
神を賛美できる身体に造ら
れています。私たちは神の
息を受け、その風を賛美に
変えて歌う「風の器(wind
instruments)」なのです。
互いの器を通して、響き合う
音を聴き合いながら、苦難の
時も喜びの時も、神への賛美
を歌い続け、神のご栄光を現
す器として身体全体で福音を
歌い続けましょう。



—心の窓をひらく—



福音と私(二七〇)

—今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか—

苦小牧聖ルカ教会信徒

マグダラのマリヤ 高橋 美倫



「私の好きな聖句」

目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。

わたしの助けはどこから来るのか。

天地を造られた主のもとから。

どうか、主があなたを助けて足がよるめかないようにし

まどろむことなく見守ってくださいるように。

(詩編 一二二)

高校を卒業して地元で就職し、社会人一年生の頃、映画「天使にラブソングを」の影響でゴスペルクワイアがたくさん生まれ、北海道にもたくさんさんの聖歌隊ができました。私の地元浦河町でも、その音楽とメッセージに魅了された仲間たちが現れ、私もその一

はその時ではないのかな、と気がついたからです。

それから夫(ルカ高橋賢司)と出会い、転勤で生まれ育った街を離れ、斜里町で数年過ごしました。その間もゴスペルと教会と、ずっと切れることのない不思議な糸でつながっていました。何度か近くの教会にも行きましたが、そこでも背中を押されることなく、二〇一七年苦小牧へ移動

がきまり、聖ルカ幼稚園と出会いました。新しい生活がスタートし、幼稚園を通して新しい友人、そして少しずつ教会と触れ合うことが増え、気がついたら日曜日に子どもたちと礼拝に参加する日も増えてきました。

ある日、北海道のゴスペルを牽引してきた仲間が大病を患い、祈ってくださいとのメッセージがきました。彼女はその年のクリスマスに天に召されました。その事を聞いて、行く予定ではなかった教会へ急いで向かいました。「私はこのままで良いのかな?」と、なんだか胸がそわそわ

して、いてもたってもいられない気分でしょうがなかった事を今でも覚えています。礼拝が終わわり、何かを伝えなくちゃと寒い入り口に置いてあるストーブに灯油を注ぐ司祭の元へ行き、胸の中から押し出されるように自分の口から

でた言葉に驚きました。「洗礼を受ける学びをしたいです。」ああ神様が背中を押してくれるとはこれだったんだと感じました。あの時ゴスペルに出会っていなければ、あの時あの教会であの言葉をかけてもらっていなかったら、苦小牧に来ていなかったら、「聖ルカ幼稚園へどうぞいらしてください」と受け入れてもらっていなかったら、おそらく今の私はなかったのではないかなと感じています。

私の大好きなゴスペルソングで世界中で歌われているとても有名な「My Life Is In Your Hands」という曲があります。「心配しないで。なにも怖がらなくていい。だって問題はそう長くは続かない。必ず暗闇に喜びの朝が来

る。思い出して!あなたの悲しみを共に過ごしてください。友達がいてるイエス様っていう友達がいるじゃない。あなたの人生に苦境や試練が訪れた時。あなたの友達も愛する人も周りに誰も見あたらない、ひとりぼっちに感じる時。思い出して!あなたの横にはいつもあなたの悲しみを知って涙を拭ってくれるイエス様がいる。そしてただ言ってみて。私の人生にどんな事が起ころうとも私は大丈夫。だってイエス様が私を乗り越えさせて下さるから。My Life is in your hands 私の人生は神様の手の中に。」

幾度となく困難な時にもこの曲に励まされ、神様を強くそばで感じる事ができ、教会に出会い、自分の居場所を見つけた時、さらにその存在を強く感じる事ができました。今では家族四人一緒に教会の活動に参加し、共に祈りを捧げ、教会での出来事を共に共感し分かち合えることを感謝しています。

常置委員会報告

第七回 五月一六日

協議事項

- 一、管区主催「沖繩の旅」への参加者支援に関して
- ・参加に要する費用の二分の一を補助することとした。
- 二、管区女性デスク主催「女

性の教役者黙想会(音楽黙想会)への参加者支援に関して

- ・参加に要する費用の二分の一を補助することとした。
- 三、東京教区主催「小笠原への旅」への青年参加の呼びかけに関して
- ・北海道教区の青年に参加を奨励するとともに、一人につ

き自己負担が五万円となるよう補助することとした。

- 四、コロナ感染症に対する対応に関して
- ・衛生管理・健康管理・換気などは継続しつつ、今後は流行期を除き平常通りの対応とする事とした。陪餐の方法などについても、教役者会にて

分かち合うこととした。

- 五、学法・社法の教区に対する委託費に関して
- ・社法・学法各理事会において、納入額の確認を求めるとした。

十 教区逝去教役者 記念聖餐式

七月二日(水)

午前10時30分 於 主教座聖堂

次の方々を覚えて祈ります。

司祭 林 稔

一九七八年七月一日

伝道師 小川 淳 一

一九一二年七月三日

主教 渡辺 政直

二〇〇二年七月一日

司祭 今井 四郎太

一九四六年七月一日

司祭 野村 義雄

一九六二年七月一日

伝道師 黒田 富雄

一九九四年七月一日

司祭 木村 定三

一九四五年七月一日

伝道師 ジェーン

A・ステープリー

一九六三年七月二四日



主教室から

昨年一四年振りに行われたランベス会議は、当初から三段階で展開されていくことが提示されていました。事前プログラム、ランベス会議、その後の展開という三段階(フェーズ)です。

事前プログラムのフェーズ1では、参加予定の世界中の主教たちがウェブ会合を通して出会い、交わりを深め、互いの状況を聴き合う時を持ちました。またフェーズ2では、ご存知の通り、実際にイギリスのセント大学に世界中から主教たちや配偶者たちが集まり、

が行われました。

一〇日間の祈りと聖書研究、ランベス・コールと呼ばれるテーマ毎の会合・協議

その後、昇天日から行われた「み国が来ますように」の世界的な祈りの連帯を経て迎えた今年の聖霊降臨日に、ランベス・コールズが改めて発表されました。これは、フェーズ2のランベス会議で共有され、会議での協議がその後反映され修正が加えられた一〇のテーマ毎の文書です。この度のフェーズ3では、コールのテーマ毎のひとつずつの文

書について、期間を区切ってアングリカン・コミュニケーション全体で共有し、それぞれの自分たちの状況や物語の中で思い巡らし、実行します。さらにそれを全体に情報として持ち寄って分かち合うということを繰り返していく方法で、コールズのテーマを展開・深化させていこうというものです。

今年度の聖霊降臨日から八月までは「弟子になること」、また九月から十二月までは「環境と持続可能な開発」がそれぞれの期間中のテーマとなります。その後ひとつずつテーマを取り上げ、二〇二五年一二月までこのフェーズ3は継続されていきます。

表 マリア・グレス 笹森 田鶴

笹森主教と行く、5泊6日

小笠原諸島・父島

「小笠原聖ジョージ教会」

2023年10月25日(水)～30日(月)

申込締切：2023年7月31日

主 催：北海道教区

申込受付開始7月1日(土) / 定員12名(最少催行人数5名)

函館聖ヨハネ教会

クレア 黒田 結以

(五月二八日)

堅信式受領 おめでとう

十 教区逝去教役者 記念聖餐式



宣教協議会のための祈り

二月一日(金)〜三日(月)に開催される宣教協議会に向けて、実行委員会は「協議会のためのお祈りを作ろう」ということになり、実行委員長である磯崎久主教が次のようなお祈りとしてまとめられました。

「信頼と和解、平和と正義の源である主よ、人間の愚かさや誤りにより、今なお戦争、弾圧、差別、分裂の絶えないわたしたちの世界を顧みてください。日本聖公会宣教協議会へと向かう歩みを祝福し、わたしたちがこれまでの歩みを振り返り、その実りを感じることが出来ますようにお導きください。そして、新たな歩みの出発点とすることが出来ますように、わたしたちの足を照らし、知恵と力をお与えください。」

あなたは、み子イエス・キ



日に開催されました。分科会としては第四回目です。参加者は、祈り書改正委員

会のメンバーと実行委員でした。祈り書改正委員会担当主の吉田雅人主教と専従者の市原信太郎司祭から「祈り書改正のプロセスと現在の課題、宣教協議会に期待していること」と題してお話がありました。「私たちは共同体としてともに歩んでいく。その歩みを支えるのが祈り書なのです」。吉田主教のこのような言葉が印象に残りました。また市原司祭からは、現在行われている多岐にわたる祈り書改正作業についての説明をお聞きしました。その後、分かち合いの時を持ちました。この働きが、神様の祝福とみ守りのうちに終えることが出来ますように。

これらの祈りには、実行委員会が目指す宣教協議会の姿が示されています。このような協議会となるよう、どうか皆さんもお祈りください。

ぶどうの枝分科会

(祈り書改正委員会編)

標記の分科会が、二月一六

宣教一五〇年実行委員会だより IV

司祭 サムエル 吉野 暁生

みなさんこんにちは。宣教一五〇年実行委員会です。五月二〇日の教区礼拝で、ロゴマークの投票や一五〇年献金についてお話をさせていただきました。ありがとうございます。

これからのこのスペースで、みなさんに宣教一五〇年のお知らせをしていきますので、お祈りのうちに見守っててください。

さて、教区礼拝から五月三十一日まで投票の行われた「一五〇年記念ロゴマーク」ですが、六月四日に行われた宣教一五〇年実行委員会投票結果の報告がありました。

みなさんの投票の結果「B案」となりました。(一五〇の〇に道がついている方です。)今後この「B案」を基に調整を行い、色や形などのパターンをいくつか作成して、近々正式に決定する予定です。現在デザイナーの松村希さんと協議しながら進めていますので、完成版の発表まで今しばらくお待ちください。また、一五〇年献金の袋にはこの口

ゴマークを入れる予定です。で、ロゴマークが完成次第みなさんのところに献金袋をお届けする予定です。

さて、ロゴマークが決まると、今度は「どんなグッズを作ろうか」と、少しワクワクしながら、こちらも協議を進めています。マグカップやペーン、付箋などをはじめ、ステッカーやはたまたLINEスタンプなど、色々なアイデアが飛び出しています。

「北海の光」連載中の「福音とわたし」の書籍化作業も順調に進んでいます。テキストはほぼ起こし終わったので、誤字の修正やレイアウト等の作業に入っています。一〇〇ページほどの五つの分冊で随時刊行する予定です。こちらも楽しみにお待ちください。

いよいよ宣教一五〇年の礼拝まであと一年です。礼拝は二〇二四年七月一五日月曜日ですので、みなさん今からご予約ください。それではまた来月！

(文責：司祭 北澤 洋)

北海道教区礼拝

教区礼拝実行委員長

パウロ 横山 光紀

二〇二三年五月二〇日、マリア・グレイス笹森田鶴主教の司式のもと宣教一四九年北海道教区礼拝が札幌キリスト教会にて執り行われました。コロナ禍を経て実に三年ぶりに大々的に行われた教区礼拝。全道から二〇〇名を超える多くの信徒が集まり、神への感謝と祈りを捧げました。

東北教区のフランシス長谷川清純主教をお招きし、ユーモア交えた温かい説教がありました。聖職者による昇階唱や、子ども聖歌隊の奉唱等、まだ一〇〇パーセントとは言えないまでもコロナ禍以前の状態に戻り、世代を超えて一体感を味わいました。

礼拝後には、各種報告が行われ、中でも今金インマヌエル教会の礼拝堂保存に係る献金のお願い、およびタンザニアにて奉仕活動をされていたグレース雨宮春子さんの活動報告が行われました。

愛餐会やミニバザーも復活し、汗ばむほどの天候に恵まれた日、今金インマヌエル教会の皆さんそして笹森主教が屋根の上から餅まきをおこなひ、歓声が舞いました。

信徒たちの心に平安と希望をもたらし、信仰の力を確認できた教区礼拝。コロナ禍によつて会えなかつた面々がそれぞれ旧交を温めるだけでなく、信仰共同体の絆を深め、信仰の喜びを分かち合う場となったのです。

信仰の力によつて結ばれた私たちは、来年の宣教一五〇年記念礼拝での再会を誓いつつ、神の愛と導きを受け続けることでしょう。



説教者 東北教区主教
フランシス長谷川清純師



各教会のパナー



祈祷 北海道教区主教
マリア・グレイス笹森田鶴師



子ども聖歌隊



昼食風景



今金インマヌエル教会による餅まき



ミニバザー

教会だより June



▽釧路聖パウロ教会 ▽厚岸聖オーガスチン教会

(伝道所)

「聖書とは何ですか」今月の質問です。五月一四日、復活節第六主日。恒例の礼拝後の勉強会。「教会問答あれこれ」もQ七まで進みました。これまであまり考えたことがなかったのですが、聖書二千年の歴史を辿ることになりました。

聖書には様々な言語で書かれた歴史があり、中には大阪弁で書かれたものもあったとか。聖パウロ教会では「聖書協会共同訳」を使用しており、①生活上の規範と道徳上の教

訓のために読むと規定されていること。また②多くの人と一緒に読む、聞くことが大切とされてきたことなどを知り学びました。感謝。

二八日は「聖霊降臨日」。三大祝祭日の一つとあって早めの時間に信徒達が集合。聖書由縁の「赤」を身に着けた人が目立ちます。礼拝は『T H Y KINGDOM COME』の小冊子から始まり、聖餐式へ。聖歌の歌声も高く響き新鮮でした。

礼拝後、集會室でのお茶会。大勢の信徒がコーヒーや鳩サブレー等を戴きながら談話。コロナ禍前の時間が戻り、聖霊に満たされた一日でした。

▽岩見沢聖十字教会

五月に入り、新入園児も園生活に慣れました。預かり保育も連日三〇名以上利用。保護者をサポートしています。

今年も信徒は聖霊降臨日まで「祈りのしおり」を用いて五名の救いを祈りました。二〇日、札幌キリスト教会で教区礼拝。大勢の参加者が集い、コロナ前に戻りつつあ

る事を実感しました。イベントの最後は主教様達による屋上からの餅まき。私たちだけで一人一〇個も拾いました。二八日、聖霊降臨日。信徒は恒例の赤い物を着用。礼拝後、記念写真を撮りました。

▽帯広聖公会

手入れされた教会の花壇に綺麗な花が咲いています。牧師館玄関床の改修工事も終了しました。

二二日、大町司祭の指導で「み言葉の分かち合い」が行われ、霊的養いの時間が与えられました。主に感謝します。二八日、墓地礼拝は三〇名ほどが集い、合葬も執り行われました。

また、橋本徹子姉が二七日に天に召されました。これまでの豊かな交わりに感謝し、魂の平安とご家族に慰めがありますように、心からお祈りいたします。

▽稚内聖公会(伝道所)

新任の下澤司祭は四月末に着任しましたが、五月は稚内には行けませんでしたが、たつたお一人の信者さんとは電話

でお話をし、お元気そうで安心しました。六月九日には聖餐式を行います。やたらに広い道北のパリッシュ、そして豊かさや厳しさが共存する自然の前に、畏敬の念をもって接しています。

今年も数年ぶりに最北の教会での合同礼拝を八月二七日に行います。他の分区の方々も出席可能です。教会宛に案内をお送りしますので関心のある方はご覧ください。これからは稚内聖公会伝道所のためにお祈りくだされば幸いです。

▽苫小牧聖ルカ教会

木々の若芽から緑に変化していく季節で、とてもさわやかに感じます。またコロナで三年程さまざまな制限がありましたが、やっと普通に礼拝ができる喜びを味わっています。気持ちも新たにするために、礼拝堂も大掃除をしました。

牧師の人事異動があり、松井司祭は新札幌聖ニコラス教会でも礼拝を行うことになりました。聖ルカ教会も信徒による礼拝が増えてくると同

時に、教会を守るのは信徒であるという意識がより高まっています。教会礼拝に合わせて味噌の袋詰めを行うが、なかなか売れず。教区から信仰のデザインノートが届く。何度も書き直しながらも、自分の意思を表しておく大切さを感じました。

▽函館聖ヨハネ教会

庭の花々が一齐に咲き始める。二〇日、教区礼拝に藤井司祭夫妻出席。二一日、木村夕子協働司祭の司式・説教の後、三年待っていた東京の「バッハ室内合唱団」コンサート。市内外より百人強の聴衆を迎え、感動の歌声が聖堂に響く。二二日、鈴木芳夫氏の葬儀。二八日、聖霊降臨日。

二階後ろの十字架から祭壇に向かって三本の赤いリボン、ろうそくも赤。主教ご巡錫。お母様の陽子さん、沼原さんも一緒に。コロナ等で二年越しの黒田結以さん(中学二年)の堅信式。礼拝後に全員で記念写真を撮り喜びを分かち合う。三年ぶりの手作り食事で

の愛餐会も行われた。
▽平取聖公会

五月二二日の内海牧師の説教は、前日の教区礼拝の東北教区長谷川清純主教の説教内容と、五年後の北海道教区と東北教区の合併についてのお話でした。

京都教区と大阪教区の合併の延期、北関東教区が主教を選出しなかったとのニュースに接していましたが、来年の北海道教区一五〇年のすぐ後に両教区の合併が迫っていることを実感しました。

教区礼拝のミニバザーに婦人が出店し、完売できました。この売り上げを加えてバチラー保育園の新築祝いに一〇万円を贈るとのことです。

▽札幌キリスト教会

少しずつ着実に教会活動がコロナ禍前に戻っています。五月七日オリブ会は市民農園での作業を開始、一四日、三年ぶりに特製カレーを振る舞い、皆が変わらぬ味を楽しみました。同日、子ども達が花壇を整備し、教区礼拝で全

道の皆さんを迎える準備をしました。そして、二〇日には久しぶりにミニバザーと餅まきを含む教区礼拝が行われ、二百人以上の信徒が集いました。翌二日には、笹森主教を迎え、永谷司祭の牧師任命式が執り行われました。行事が盛りだくさん、皆笑顔です。

▽札幌聖ミカエル教会

二〇日の教区礼拝には、ミカエルの日曜学校の子ども達がかけつけ「こども聖歌隊」が復活。元氣な賛美の声を聖堂に響かせました。その後の餅まきで、奉仕のご褒美にと言わんばかりに袋いっぱいのお菓子と嬉しそうに持ち帰っていきました。二一日は

両宮春子さん帰国後のグレースの会報告会が開かれました。聖霊降臨日の礼拝後は、信徒全体での大掃除。教会堂、牧師館の庭が綺麗に整いました。

▽新札幌聖ニコラス教会

最近の寒暖差に体調がついていくのがやっとの日々ですが、美しい新緑がまばゆい季節となりました。教区礼拝に

向けて、婦人会による名物ごませんべい作りも行われ、コロナ禍以前の活動に少しずつではありますが戻りつつあるように思われます。

ニコラス教会は、毎週司式してくださる先生が変わるといふ、恵み多き主日を迎えております。まだまだ途上ではあります。新しい協働のあり方を模索しながら、信徒達の手で進めていく方法を手探りしながら作り上げています。

▽聖マーガレット教会

新緑が日々濃くなっていく季節になり、教会横のチューリップも色鮮やかに咲いています。かねてお隣からお借りしていた通称「三角の土地」を無事購入しました。隣地は更地になり、今まで見ていた景色が一変して寂しさも感じます。

五月二一日礼拝後、皆で教会内の清掃をして二階で昼食うどんを食べました。コロナ後、久しぶりの温かい昼食に皆笑顔で楽しい交わりの時を

もてました。今年度はコロナ禍で出来なかったイベントも少しずつ行えることに感謝し、地域の方々との交わりも増やしていければと思います。

▽有珠聖公会

五月一四日、大町司祭、帯広よりの初の来会。聖餐式を共に捧げしました。七月の主教巡回の折りには、野外でジンギスカンを行うこととしました。「有珠学紹介手帳(共同文化社)」が、出版されました。バチラーの伝道や有珠聖公会の働きについても詳しく触れられています。著者の大島俊之さん(北見工業大学名誉教授)をお迎えして、八月二六日に、有珠聖公会で出版記念講演会が行われる予定です。

▽留萌キリスト教会

還暦バイク旅のクリスチャンが礼拝に出席されました。単独で松本市を出発して日本の前にしての留萌訪問でした。共に主の食卓のお恵みに与り、千葉さんご指導の抹茶

の席もご一緒しました。

小林栄子さんは胸にステントを入れて三週間の入院を経て自宅療養中です。助けていただいた命を大切にする日々です。金岩美穂子さんは愛犬が亡くなり意気消沈。教会の礼拝が慰めと生きがいの場で、仲間励まされて頑張っておられます。

▽小樽聖公会

一四日(日) 聖餐式後、小樽聖公会墓地に移動し、四年ぶりで、墓地での祈りをおさげする。さつきばれの日曜、そなた色とりどりの花が、映える。

二八日(日) 祝聖霊降臨日。聖霊のシンボルとして、赤いものを身に付けて出席する方あり、いつからであろうか、北海道教区に広まったこの祝日の習慣、微笑ましい。聖霊は「いのちの与え主」、そして、わたしたち、一人ひとりのこころの深きに宿り、愛と希望を保たせ導きたもう。

▽今金インマ又エル教会

一四日、昨年逝去されたマリア平野キミ姉の記念式。主

日礼拝は藤井司祭による司式。函館からの移動は、今春よりお孫さんの樹さんと交代で運転されています。二〇日教区礼拝には三名出席。久々に用意したおもちはお菓子、みそ汁、韓国のお餅と共に屋上から皆様の元へ。今年も怪我人もなく無事終える事が出来ました。今金インマヌエル教会修理献金にご協力いただきました多くの皆様に感謝申し上げます。

二八日聖霊降臨日には上平、藤井両司祭による司式での礼拝になりました。

▽新冠^{にいかぶ}聖フランシス教会

優駿の里新冠の牧場では、春に生まれた仔馬が放牧され、お腹一杯草を食べては親馬にぴったり寄り添い、寝たり駆け回ったりする光景に癒されます。

ツーリングで訪れる方も結構多く、可愛い馬の親子にカメラを構えシャッターを押しています。今、教会の庭先では赤いつつじが満開です。復活節第六主日には札幌よりの熊谷和彦・泰彦兄弟が礼拝を共

にし、また、聖霊降臨日には奥田貞子姉と奥田光信兄揃って来教で大感激でした。残念ながら体の不調で自宅療養中のお一人ひとりの上に主の平安ありますよう祈りつつ、主に感謝!

▽室蘭聖マタイ教会

復活節第四主日は礼拝後マタイ福音書二七章の輪読会をしました。日々聖書には接してはいますが部分的な面が多く、輪読会はとても有益です。

最近教区より信仰のデザインノートと「葬儀への備え」が出されましたが、高齢化した信徒にはとても参考になります。

教区の司祭が不足しているため、主日に聖餐式があるとは限りませんが、少ない信徒ではあります。助け合って教会を維持しなければなりません。二〇日の教区礼拝には白藤姉が出席しました。教会の諸掲示板の保持には田中兄の器用さに助けられています。

▽旭川聖マルコ教会

第一週の七日は逝去者記念日をおぼえて豊かな祝福を願

い、祈りをささげました。

一四日は笹森主教の巡回日で、共に聖餐式を守れたことに感謝いたします。この日コルベ下澤司祭の牧師任命式も行われました。コロナ対策で中止していた「チャント」も再開しました。礼拝後は、月に一回ではありますがマルコ食堂も開催され、共に食事ができる事に感謝いたします。

二一日は下澤司祭留萌奉仕のため、広谷司祭のもと聖餐式を守りました。

▽網走聖ペテロ教会

ストーブを点けない礼拝に暖かさを感謝。教区礼拝にはオンライン参加、豊かな恵みに感謝。「北海の光」五月号「福音と私」に飯野まゆみさんの証しが載り感謝。ペテロの会では集会所のワックス掛けを行い、乾くまでの間聖歌練習、窓の灯りが床に映りとても素敵でした。聖霊降臨日の礼拝ではキリストの香りを運ぶ神のご祖父様逝去の報に共に祈

りました。ホームからは生後一か月の一時保護委託の子も

礼拝に姿を見せていました。心から幸せを祈ります。

▽北見聖ヤコブ教会

たんぼの綿毛の絨毯が敷き詰められている北見です。

高橋農夫さんが新しく逝去者板をお作りくださいました。とても立派で大きなものです。手製の十字架も一番上に付けられています。感謝。

教区礼拝には司祭のみの参加でしたが、祈りをもっと支えてくださいました。二二日にはヤコブ岡信一さん、ラケルユリ子さん、和子さん、アクラ守さんの逝去者記念の式がご自宅で執り行われました。

陪餐後「あらっ、自分の席忘れたわ」と互いに顔を輝かせている北見です。

▽紋別聖マリヤ教会

連休前には桜が咲き、今年が暖かいのかと思えば寒暖の差が激しく、ここ数日は夏日で驚いております。教区礼拝が札幌で二〇日(土)に行われ、多数の参加者でにぎわいました。幼稚園では二五日、オホーツク流水公園で玉ねぎ、とうもろこしを植えました。

小野垣尚子さん逝去されました。園庭ではじゃがいも、人参を植え、畑仕事を経験しました。

二八日、礼拝に越山先生のおつれあいが深川よりいらして、大雪の冬を越し、話はずみ楽しい礼拝でした。主に感謝です。

▽深川聖三一教会

五月七日、委員会では六月の行事、主教様を迎えるの宣教開始一二年記念礼拝、新管理牧師下澤司祭ご来訪、「出会いと交わりの日」への対応について相談す。二一日、婦人会で読書会再開、元ドイツ首相アンゲラ・メルケル女史の『わたしの信仰』の輪読、メルケルさんが信仰者としてなした政治的決断の心をかいま見る。

小野垣尚子さん逝去される。同氏は娘さんが当教会員のご縁で四〇年間信徒同然の方で、祭壇への献花、婦人会出席、礼拝出席、教会集会用に一年分の漬物樽漬と奉仕の数に感謝。二一日の婦人会日に同氏を覚えて逝去記念の祈りをささげる。